

要 旨

農業を取り巻く状況は、人口減少や高齢化等による担い手不足、また、混迷が続く国際情勢の不安定化や新型コロナウイルス感染再拡大の懸念など、非常に厳しさが増しております。

農業経営においても、労働力の確保や、燃油・資材の高騰によるコスト高、さらには、農地の集積・集約化がなかなか進まないなど、効率化に向けた課題が山積している状況です。

そこで、こうした課題への対応方策について知見を深め、経営の効率化に資するため、実際に農業者の方々が取り組んでいる、様々な事例（スマート農業や燃油・肥飼料等の高騰対策、労働力確保対策など）について情報収集を行い、広く発信することといたしました。

今回は、当農業会議が事務局を担当している各組織（経営者会議、法人協会等）の皆さまにご協力をいただき、次世代農業の実現に向けて、先端技術と農業技術を組み合わせた「スマート農業」の取組事例を調査いたしました。事例の収集等にご協力をいただきました経営者の皆さまには、感謝を申し上げます。

今後も、ご覧いただいている農業者の皆さまの経営効率化に資することができれば幸いです。

令和5年7月
(一社) 栃木県農業会議